

児童発達支援 事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 11月 10日

事業所名:ふたば園 回答数:12

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	11	1		活動によってはスペースが足りないため、複数の部屋や廊下を使うなどの工夫をしている。
	2 職員配置数は適切であるか	12			指定基準2名に対し、9~10名の職員が配置されている。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	12			活動に応じて部屋を使い分けたり、スケジュールカラーマットなどを使って場所、時間の構造化を図っている。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	12			体温調整の苦手な子どもが多いため、心地よく過ごせるよう心がけている。 子どもの活動スペースには床暖房があるため、心地よく過ごすことができる。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	11		1	療育終了後に毎回職員で目標設定を話し合っている。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	12			保護者向けの評価表に寄せられたご意見をもとに、業務改善に取り組んでいる。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8	2	2	市役所のホームページで公開している。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	4	8	外部評価は実施していない。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8	2	2	職員が各自で学会や研修等に参加し、専門性の向上に努めている。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	12			他職種と連携し、総合的にアセスメントできるよう努めている。
	11 子どもの適応行動の状況を計るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	9	2	1	発達検査、知能検査を定期的実施している。 視知覚の評価も実施している。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	10	2		児童発達支援計画は、主に園内で行う療育内容を具体的に設定している。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	12			
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	12			・各グループのリーダーがそれぞれの担当セラピストから子どものニーズを聞き取り、活動に反映させている。 ・活動の内容が目的に沿って実現できているかについて話し合いを通じて修正している。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9	3		子どもの特性等により、ある程度固定したプログラムで実施する場合もあるが、子どもの様子や発達状況により、プログラムを再検討している。目標達成後は、次の目標に沿ったプログラムを作成している。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	12			集団指導と個別指導の両方を提供している。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	12			毎回、活動の前にミーティングを実施している。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	12			療育終了後にミーティングを行い、次回の療育につなげている。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	12			療育を実施した当日に記録を作成し、プログラムの見直しをしている。
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	12			半年ごとにモニタリングを実施している。	

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業のサービス担当者会議に、その子どもの状況に精通した、最もふさわしいものが参画しているか	12			他機関との連携が必要な場合、子どもの担当職員が主として連絡等を担い、情報共有している。
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	12			必要に応じて子どもの所属園へ訪問をしている。
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	7	1	4	医療的ケア児は在園していない。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	7	1	4	医療的ケア児は在園していない。
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	11	1		必要に応じて園訪問をしたり、見学に来ていただいたりして、子どもの様子や支援内容について共有し、相互理解できるよう努めている。
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	12			移行支援シートの作成や、就学相談への参加、会議、訪問など適宜連絡を取っている。
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	6		事業所を複数利用されている場合は、必要に応じて連絡、連携をとっている。
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	2	5	在籍児の大半が保育園、幼稚園との並行通園を行っており、それぞれの在籍園で障害のない子どもとの交流があるため、ふたば園では実施していない。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	9	1	2	
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	12			できるだけ共通理解ができるよう所属園や家での様子を伺い、療育場面でみられる課題等について伝えるようにしている。療育終了後に、その日の様子を伝えるようにしています。
31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っているか	10	1	1	ペアレントトレーニングとしては行っていないが、療育の場面を通して具体的なかわり方を伝えている。また、年に1度保護者向けの学習会を実施し、子どもの特性の理解や対応の仕方、療育で行っている支援、工夫について伝えている。	
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	12			年度初めや入園時にオリエンテーションを行い、その中で説明している。
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	12			
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	12			療育に来られた日は必ず保護者の方の話を聞き対応している。時間が取れないときは保護者だけの面談や電話相談をしている。
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会などを開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	11	1		
	36 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12			
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3	2	7	会報は発行していないが、掲示板に行事予定や活動概要等を掲示し、保護者へも口頭で伝えている。
	38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	12			他機関と連携する場合は、その都度保護者の方の同意を得るようにしている。
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	11	1		
40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	4	8	コロナ禍のため近年は実施できなかったが、例年は年に一度家族や親族のためのオープンキャンパスを行っている。	

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
非常時などの対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	2	7	3	保護者へは入園時に確認を行っている。緊急対応マニュアルを策定し、職員間で確認している。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	1	4	7	
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	11	1		
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	6	2	給食はない。
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	4	4	事例集は作成していないが、事例の話を共有している。 机の配置等、環境を整え、けがのないよう努めている。事故があった場合は、上司に報告し事故報告書を作成し、改善点や対応方法を職員間で共有している。
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	5	3	定期的な研修を実施している。
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	4	4	4	体の拘束などをするとはしていない。部屋や園内からの飛び出しを防ぐために施錠を行い安全を確保している。